



広報

ここのえ



菅原天満宮秋祭りから (18ページに関連記事)

もくじ

ブラボー！「星生山の星太郎」…	2	勉強は楽しいもの	14
ふるさと祭り	3	教育委員会だより	16
進む「まちづくり条例づくり」…	4	図書館だより	17
まちの家計簿	6	秋日和/シリーズ地域力	18
玖珠郡合併協議会	8	まちの話題/交通	19
提案箱/お風呂は大丈夫？…	9	くらしの情報	20
保健	10	人権/当番	22
プラトーガオープン	11	歳時記/時間旅行	23
ふれあい福祉	12	人の動き・ふれあいタイム	24
高校生が農業体験	13		



2ページ



3ページ



14ページ



14ページ



18ページ

ブラボー!

「星生山の星太郎」大分公演が大成功



メイク。だんだん緊張してきたぞ

星太郎ニュース
「まだ観ていない」「もう一度観たい」……そんな声にお答えして、アンコール公演が決定! 来年2月1日、九重文化センターにて。詳細は後日お知らせします。



PM1:45
オープニング



PM3:57
ラスト。緊張も吹き飛んで楽しくてたまらない様子です。



PM4:05
おわり! も〜、感動〜!!



PM12:20

観客第1号は、大分市の安部さん(真ん中に座っている女性です)。開演2時間前から並んでいました。回りは出演の須藤百合子さん(青山通り)の関係者一同です。「小さな町でこんなことができるってすごいです。文化を大事にする町というのが良く伝わってきます」



PM12:42

本番前。あがらないように「人文字」を。みなさん「人を飲みすぎたー!」



PM11:27
さあ、本番!

町外(主に大分市)の観客のみなさんのアンケートから「上出来です。言うことなし!」「九重町民の力と結束力を見せつけられました。合併問題がもったいない」「ブラボー!」「こういう活動が一番町を活性化させると思います。若い人たちにも古里を愛する心が育てば最高です」「九重町にはみなさんのつながりを大事にする昔ながらの良さと、子どもを育てる力が根付いていると思いました」「昔話風で、それでいて、どこか軽快で見ていて楽しかったです」

町民ミュージカル「星生山の星太郎」公演が10月5日、大分県立総合文化センターグラウンシアタ(大分市)で行われ、約千五百人の観客が詰めかけました。

このミュージカルは、一村一文化推進事業として取り組まれたもので、ミュージカルとしては、一九九九年の「朝日長者物語」以来4年ぶりとなります。総監修・台本を県民演劇制作協議会会長の中沢とおるさんが、演出を同協議会代表の清末典子さんが手がけました。

出演者は、すべて地元から。職業を見ると、教師・自営業・農家などさまざま。昨年3月から週3回の練習を繰り返して来ました。

習を繰り返して来ました。約2時間半のステージでは、出演者それぞれが練習の成果を思う存分に発揮。ステージを影で支えるスタッフも完璧の働きをしていました。「暗転の時のスタッフの動きがとてもきれいだっ」という感想も客席から聞かれました。

公演終了後、中沢とおるさんは「九重町はミュージカルをするのに、みんながひとつになる。こんな町はどこにもない。みんなで力を合わせればこんな舞台もできる、というのを見せることができた。大分の舞台関係者やマスコミは驚嘆していた。今日は百点満点。ここに九重ミュージカルあり」と、出演者・スタッフの労をねぎらいました。

また、清末典子さんは「たくさんみんなに支えられた感動と感謝を忘れずに明日からの第一歩にしようね」。この2年間、大分市から通い続け、出演者・スタッフと共に歩いてきた清末さん。終演の幕が下ろされたとき、ほとんどの出演者が、まず清末さんの元に駆け寄り、大成功を喜び合っていたのが印象的でした。

「この感動があるからまた舞台上立つんですね。私は小学校の頃、夢見ていたことが三つあるんですよ。



主演の
平原由美さん

そのひとつが、ミュージカルの舞台に立つことだったんです。夢をたくさん持つていたら、いつか必ず叶うチャンスが来ると思っています。そう話すのは主演の星太郎を演じた平原由美さん。普段は教師をしています。今回は、主演だけでなく、オープニングに一人で歌うという大役も課せられていました。ちなみに、平原さんが小学校の頃持っていた残りの二つの夢、ひとつは教師になること。もう一つは秘密だそうです。

九重町の笑顔が大集合!

ふるさと祭り

第9回九重ふるさと祭りが10月25日・26日の2日間、九重活いきランド一帯で行われました。これまで悪天候に泣かされることが多かったこのお祭り、今年は2日間ともほぼ快晴のお祭り日和。今年も元気いっぱいのステージや多彩な出店があり、訪れた人々は、秋の一日を楽しんでいました。

開会行事では九重町の振興・発展に功績のあった13名のみなさんが表彰されました。



小池百合子環境大臣も来場。JA飯田女性部のみなさんと



秋と言えばサンマ。「これはいける!」と思ったのですが...

町民パワーを感じます。ド迫力です。開会行事のあとのモチ投げ。



今年初企画。福岡市・天神にある大画面に「祭りの模様」を生中継。インタビューは加藤アナウンサー(森高2年生)



今年もラストはヒットパレード。ボーカル担当は九重町滝上出身の佐藤美幸さん



毎年お楽しみの物まねショー。今年も巨匠平さん。30人近い物まねを次々と...



まちづくり条例は、“まちの憲法”と言えるものです。まちづくりをしていく上で、行政や住民がしなければならないこと、施策を決める上での住民参加のルールなど、基本的まちづくり権を定めたものです。

現在、町民が考える町づくり会議が中心となり、研修を行っており、まちづくり条例の構想を練っています。今回は、町づくり会議のみなさんの研修の模様を紹介しながら「まちづくり条例って何？」を考えていきます。今、九重町でもまちづくり条例のイメージが出来つつあるようです。

「町民が考える町づくり会議（甲斐素純代表）」は、5月12日・13日の2日間、熊本県宮原町と福岡県二丈町への視察研修を行いました。両方の町とも住民参加とそれを促すための情報公開が徹底しており、みなさんは（良い意味での）ショックを受けたようです。

ふたつの町の取り組みを紹介します。

徹底した住民参加・徹底した情報公開～九重町はこれが欠けている!? ～熊本県宮原町・福岡県二丈町研修



▲町づくり会議のみなさん

熊本県八代郡宮原町 人口5,200人(9月末現在)

<http://ic-sv.miyahara-t.kumamoto-sgn.jp>

すんなりわかる言葉で

「町はある日突然、ふつてわくものではありません。長い歴史の中で、多くの先人たちが営々と積み重ねてきた結果が現在の宮原町です。後世の人たちへ、安心して住み続けられるまちを送り届けようとする、やさしく強い心が必要です。宮原のまちづくりを、行政や専門家、一部の関心のある人にまかせておけば良いと考えてはいないでしょう。宮原町は、わたしたち一人ひとりがつくりあげていくものです」

宮原町のまちづくり条例を紹介したパンフレットの冒頭に掲げられた文章です。すんなりと飲み込める良い文章だと思えます。このように、わかりやすい言葉を通じて、まちづくりの大切さを伝えようとしています。

「ちいさなまちのたいなる挑戦」という宮原町ニューシナリオ（まちづくり計画書 下写真）の中にも、こんな文章がありました。

「まちに磨きをかけよう。わたしたち一人ひとりがまちの素性の良さを見極めつつ、しっかりとしたまちの未来を描き、そしてそれをみんなで共有することが必要です。その上で、共有するまちの未来に向けて、わたしたち自身とわたしたちの暮らし環境や産業をどれだけ磨き上げるかにかかっています。まちの中には、さび付いたほりをかぶったものをはじめ、まだ磨かれていない原石も数多くあります。今、輝いているものも、さらに磨きをかけることでその輝きが増していきます。」

まちづくり条例を中心にして、磨きかけるまちづくりが始まっています。

宮原町のまちづくりを特徴づけているのが、「まちづくり情報銀行」と「開発・建設行為規制」です。

町のあちこちが元気になる 町全体も元気になる

まず「まちづくり情報銀行」。

これからのまちづくりを考えたとき、地域のこととは地域で解決する。地域コミュニティを中心にしたまちづくりが求められています。宮原町では町内14カ所にまちづくり情報銀行の支店を設けています。支店には総勢百三十名のまちづくり推進員が配置され、地区ごとにまちづくりに向けた取り組みをしています。町はその活動に対し、資金の一部を助成しています。

河川などの環境整備、ガーデンング講習会、盆踊りなどの世代間交流会など、景観保全や活性化に向け、工夫を凝らした取り組みが各支店で行われています。昨年度は総額約三百万円の助成金が支払われました。

ところで、なぜ「まちづくり情報銀行」なのでしょう。この銀行の本店は役場の前にあります。この施設が以前銀行だったからというのではありません。真の意味は「住民が持ち寄った情報に付加価値という利子をつけてお返しする」。だから「まちづくり情報銀行」です。ここにも住民と行政の一体となった姿がうかがえます。今回の視察で、この銀行の名前の由来をたまたま通りかかった町職員に聞いたところ、きつちりと答えてもらったことに視察したみなさんは感心していました。町の職員すべてに「まちづくり精神」が行き渡っているところにもこの町のす

ばらしさがあります。まちづくり支店に町の担当職員を配置することでも行政・住民が一体化した取り組みができています。

みんなで決めたルールだから

そして宮原町のまちづくり条例の特徴のふたつが「開発・建設行為規制」です。規制については、住民の権利を制限することにもなりかねないため、非常に難しい問題です。宮原町では、住民と一緒に条例作りをしてきたため、規制などについても同意が得られやすいようです。実際、この条例でビジネスホテルの建設計画の変更もできました。

次に述べる二丈町でもそうですが、宮原町もコンサル（民間の相談会社）に依頼せず、住民と行政が手を携え計画を作ってきました。その結果、計画や条例が住民と共有されたものになっており、生きてくるわけです。



作るだけでなく、住民の中で 活かされる条例をめざして

～進む「まちづくり 条例づくり」



▲町づくり会議のみなさん

福岡県糸島郡二丈町 人口13,873人(9月末現在)

<http://town.nijo.fukuoka.jp>

**徹底的に、
わかりやすくをモットーに**

二丈町、ここでも住民の中にまちづくり条例が活かされています。

行政と住民が、お互いに信頼関係を築き上げ、その基盤をもとに協力し合っていく「協働のまちづくり」が着実に進んでいます。その大きな力となっているのが、住民と行政の徹底的な情報共有です。

二丈町のまちづくり条例を見ていきましょう。

住民が、まちづくりに参画するには、正しい情報を迅速に持つ必要があります。条例の中で町の責務として、「住民に対する説明責任」を掲げています。行政からの説明という点、行政用語ばかりを並べ、文法的にもおかしな文章が目立ちます。二丈町では、新規採用職員を中心に「文章作成なるほどブック」(下写真)を作り、わかりやすい文章作りを進めています。その上で、毎年、年度始めに「どの年度にどのくらいのお金をかけて、どの場所で事業をするか」を載せた予算概要説明書「協働のまちづくり」を作り、全世帯に配布しています。この予算概要書には、「ご意見ハガキ」をつけたり、ホームページ上にメールボックスを設け、そこに来たメールは3日以内に返事したりするなどの方法で住民が気軽に意見できるようになっていきます。

まちづくり条例の中で、町職員の責務として「住民の意見を十分聴く」と書かれています。ただ「聞く」ではな

く、耳を傾け「聴く」。こんなところにも二丈町のまちづくりに対する意気込みが感じられます。

第三者の評価

「情報共有」「住民参加」を通じてまちづくりを進めていく上で「評価」という視点が大事です。計画(Plan)→実行(Do)→評価(Review)→計画(Plan)と循環させることで住民の意見などを反映しながら、よりよい事業になっていきます。

二丈町ではマスタープランを作成し三百六十八項目(うち二百九十三項目は住民意見によるもの)の事業を掲げています。毎年全世帯に配布される予算概要説明書「協働のまちづくり」の巻末で、この三百六十八項目について、住民代表が評価しています。

まちづくり条例が生んだ 信頼関係

二丈町も以前は、まちづくりを行政主導で進めていました。行政から住民への情報提供も十分でなく、住民の意見や要望を把握し切れておらず、住民と行政の間には深い溝があったそうです。「役場は何しているんだ」といった苦情や批判もありました。しかし、まちづくり条例を契機に、先述のような徹底した情報提供などを進め、コミュニケーションをとっていくうち、満ちる見るうちに埋まります。最近では「こうしたらいいのでは」といった提案型の意見も増えると共に、役場に対する苦情・批判も減り、逆に「役場

は良くやっているじゃないか」といった意見が増え、住民も行政の仕事に積極的に協力・理解を示すようになりました。

まちづくり条例の手応えを住民だけでなく、町職員も感じているようです。



じわりと進む財政の硬直化 ～平成14年度九重町決算状況

九重町の経常収支比率は、82.6%（昨年は81.1%）

九重町の公債費比率は、3.9%（昨年は5.3%）

九重町の地方債残高は28億、基金残高は39億

経常収支比率

これは、財政の弾力性（ゆとり）を見るための指標です。町税・地方交付税など毎年決まって入ってくる使いみちを制限されない収入に対して、経常的な一般財源の中の毎年決まって支出しなければならぬ経費（人件費・公債費・扶助費など）がどれだけ占めるかを表す数字です。この割合が低いほど、財政にゆとりがあり、状況の変化に柔軟に対応できます。九重町は、この経常収支比率が、82.6%。昨年度より1.5%あがり、若干硬直化が進んだこととなります。10月24日に発表された県内58市町村の状況を見ると、軒並み経常収支比率が悪化。45の市町村が90%を超えるという異常事態にあり、中には99.8%という町もあります。県平均は93%。これは「地方税や地方交付税が減ったこと（収入減）」と「公債費（借金の返済）の増加（支出増）」のダブルパンチを受けたのが一番の原因で、地方自治体の財政基盤の弱さを表す結果となりました。

九重町の場合、公債費（借金）の計画的な繰り上げ償還（返済）や定員管理による人件費の抑制などを行っており、状況は比較的良好と言えます。そのひとつの表れが次の述べる公債費比率や公債費負担比率の低さです。

公債費比率と公債費負担比率

公債費比率は、町の大きさなどから、その町の標準財政規模

19,047千円
= 1千9百4万
7千円です。

歳入合計
70億19,047千円

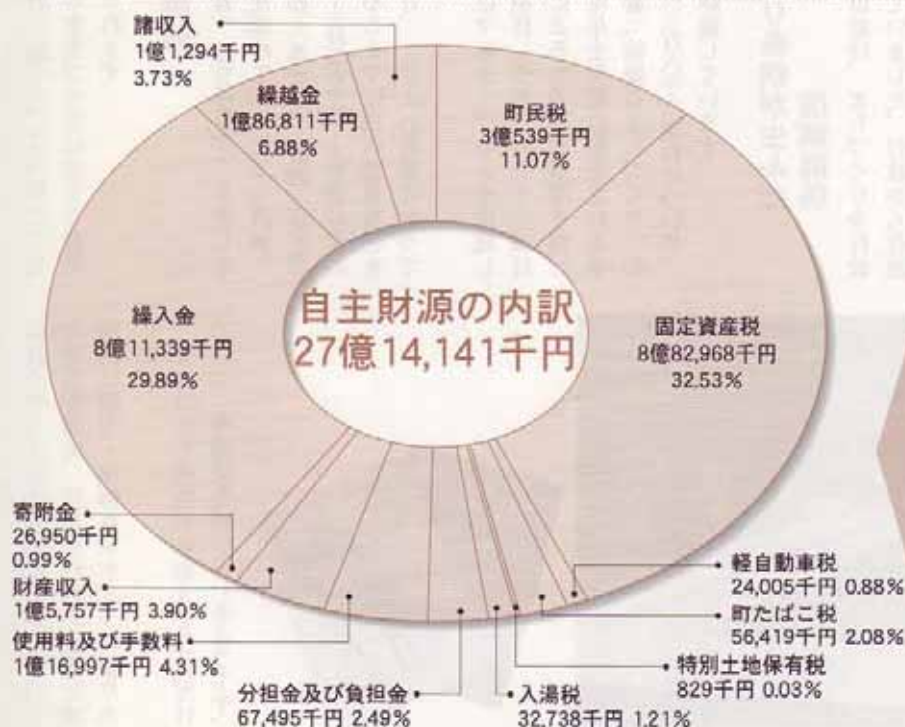


一般会計決算状況

決算規模

歳入総額は70億19,047千円、歳出総額は65億47,092千円。

平成13年度と比較して、歳入は10億25,547千円（12.8%）の減、歳出は11億60,691千円（15.1%）の減となっています。



まちの家計簿

歳入

歳入については、町税や地方交付税及び繰上償還等に対する繰入金の減などにより、決算規模が小さくなっています。町債の増については、繰越事業の影響もありますが、普通交付税の減額に伴う「臨時財政対策債(227,300千円)」の発行によるものです。

を出し、その年にどれだけの借金を返済したかを割合で表す数値です。九重町では、昨年の5.3%よりさらに低くなり、3.9%。他の市町村に比べ、圧倒的に低く、良好な状態にあります。また、同じようにその年に返済する借金の、自由に使えるお金(一般財源の総額)に占める割合を表す公債負担比率をみても9.5%と低く(繰り上げ償還分を除くと7%)、県内で一番良い状態にあります。

引き続き経費削減を行い弾力性のある財政を目指し、事業を行う場合も最小の投資で最大の効果が得られるよう取り組んでいきます。

歳出合計 65億47,092千円

歳出

歳出決算額のうち、人件費・扶助費・公債費といった義務的経費の占める割合は33.3%となっており、平成13年度と比較して1.5%伸びています。これは、人件費や公債費が減少したものの、全体的には決算額が減少(△15.1%)したことが要因です。

また、普通建設事業・災害復旧事業などの投資的経費の割合は22.0%となっており、平成13年度と比較して、学校給食センター建設事業などの繰越事業や中村住宅建設事業の完成により2.1%の縮小となっています。

費目別には主に、公債費が減少しています。これは、毎年計画的に実施している繰上償還額及び定時償還の減少によるものです。



特別会計

九重町の特別会計は、会計区分上6つ設置されています。これは、特定の事業を行う場合に、特定の収入をもってその事業に充て、一般収入支出と区分して経理する必要があるもので、国の法律等により設置されたものです。

国民健康保険特別会計

歳入 11億12,377千円
歳出 10億88,467千円

同和住宅資金貸付事業特別会計

歳入 2,741千円
歳出 2,739千円

介護保険特別会計

歳入 9億47,187千円
歳出 9億12,124千円

飯田高原診療所特別会計

歳入 84,213千円
歳出 82,086千円

水道特別会計

歳入 3億01,218千円
歳出 2億81,434千円

老人保健特別会計

歳入 15億52,951千円
歳出 15億52,949千円

用語解説

地方債：学校や道路、集会所等を建設する場合、その資金調達のために負担する債務(借金)。多額の経費が必要なものの財源に充てるための借金です。

一般財源：使いみちが特定されていない歳入(収入)で、地方税、地方交付税、地方贈与税等をいいます。

本格審議始まる

「玖珠郡合併協議会」

第2回の玖珠郡合併協議会が10月31日、くすまちメルサンホールで行われました。

「玖珠町側から、九重町側からという視点ではなく、玖珠郡からという視点に立ってほしい」という同協議会の会長・小林公明玖珠町長の言葉どおり、これまでの両町対面方式から、両町委員が混ざった席配置に今回から変わりました。

この日の協議会では、会をすすめるための運営規程・合併協定項目の概要や新市建設計画の策定方針などの提案がありました。運営規程中、「会議の進行規定」をめぐり両町委員の間で意見の相違がありました。「会議の議事は、全会一致をもって進めることを原則とする。ただし、意見が分かれた場合は、出席委員の3分の2以上の賛同をもって進めるものとする」という規定の、ただし書き部分をめぐり、九重町側は「大事な問題であり、



全会一致でのみで進めるべき。多数決で進めると、ややもすると強行採決になることが危惧され橋根を残す」とただし書き部分の削除を主張。一方、玖珠町側は「全会一致を目指すのはもちろんであるが、一般に全会一致は難しいのではないかと議論が先に進まないことが心配される。合併協議会は地方自治法に則っており、3分の2規定をもうけるのは妥当なこと」とただし書き部分を残すことを主張しました。妥協案の検討も一部出されましたが、結論が出ず、この件については次回協議会への継続審議となりました。

このほかの、合併協定項目の概要（及び調整方針）や新市建設計画策定方針等については一部要望意見等が出たものの特に異論はなく、了承されました。

合併協議会は、当分の間月1回（第4木曜日）に開催されます。

出席委員の一人（民間）は「時間を急ぎすぎる印象がある。大事な問題なので、じっくり話したい」と話していました。

みんなの力でトキを九重の空へ呼ぼう！ トキゆめ基金がスタート

九重トキ復活プロジェクト21

トキを九重から再び日本の大空へ！

九重トキ復活プロジェクト21委員会



「トキゆめ基金」ご協力のお願い

トキが舞い降り大空と大地を繋ぐもどき夢の未来に、あなたも参加してみませんか？

九重の雄大な空・豊かな大地を未来へ伝えること、そして、野生生物と人が共生できるような地域を創ることが私たちの願いです！！

▲基金への協力を呼びかけるパンフレットの表紙

先月の10日、佐渡トキ保護センターで飼育されていた日本産最後のトキ「キン」が死亡しました。推定年齢は38歳。人間に当てはめると100歳前後とされています。これで、日本のトキは絶滅したことになります。

かつてトキは、日本の里山の風景には普通に見られ、その優雅さは人々に愛され、大正11（1922）年には日本を代表する鳥としてニッポニアニッポンという学名が付けられました。しかし、乱獲や環境の悪化により激減。昭和27（1952）年に特別天然記念物に指定したものの減少は続きます。ついに昭和56（1981）年、野生のトキ全頭を捕獲、人工繁殖に着手しましたが失敗、現在では中国から譲り受けたトキから繁殖した39羽が佐渡トキ保護センターで生育しています。

中国の洋県もトキの繁殖に取り組んでおり、そこと合わせると現在世界に約450羽しか生存していません。

このトキをもう一度日本の空へというプロジェクトがこの町で進んでいます。九重トキ復活プロジェクト21委員会が昨年から始めたもので、中国洋県への視察研修や（中国の）飼育所に「孵卵器」（卵を温めて雛をかえす装置）の寄贈などを行っています。

今回トキゆめ基金を創設することにより、「①中国の洋県での繁殖を支援」しながら、未来は「九重のトキ」が実現するよう「②トキの住みやすい環境をつくっていく」取り組みを行います。

基金は一口1,000円（3口以上の寄付にはときめきバッチをプレゼント）。

入金方法などの詳細は、環境省長者原ビジターセンター内「九重トキ復活プロジェクト21委員会」。☎79-2154まで。



先日、九重町役場玄関ホールに設置された「提案箱」に町に関する提案・意見を投函いただきました。差出人は不明でしたが、広報ここのえや温泉館などに関するもので、大変参考になりました。今後も、提案や意見・希望等がありましたら、お気軽にお寄せいただくようお願いします。

では、提案いただいた件（広報ここのえ分を中心に）、考え方・今後の取り組みについて回答します。

広報ここのえについて

1. 行政に対する「提案・意見・質問用紙」の綴じ込みを。毎号積極的な提案の働きかけを。役場内に設置されている提案箱に出された意見に対する町の考え方・取り組みを知らせるコーナーを広報紙に設けると良いと思います。

回答 広報紙は、住民のみならず町をつなぐものです。役場から一方的なお知らせだけでなく、住民のみならずの意見や取り組みを積極的に取り上げていくことが大切と考えています。今後も、（行政だけでなく）住民のみならずの顔が見える広報紙をつくっていきたいと考えています。その意味でも、ご提案いただいた「提案・意見・質問の用紙の綴じ込み」や「提案箱に対する回答コーナーの設置」は、大変良いことです。取り組みに向け、検討します。

2. 目次をつける（見やすい、見つけやすいように）

回答 目的の記事をすばやく見つけるには、きちんとした目次があることが一番です。現行広報紙では、表紙に掲載していますが、大まかなものであり、ご提案のとおり、改善し、より詳細で使えるものを目指すべきと考えます。そうすると、ある程度のスペース（1ページの3分の1以上）が必要となり、表紙に載せるか、2ページ以降に持ってくるか、など全体的な構成を考え直す必要が出てきます。このため、この件については今しばらく時間をいただきたいと思えます。より使いやすい広報紙を目指し、目次の充実をします。

3. 休日当番医は、保健のページに持ってくるのがよいのではないかと？

回答 休日当番医・獣医・ガソリンスタンド等は、毎月最終ページの2ページ前に掲載しています。このコーナーは緊急の時に開くケースが多いと考えられます。この場合、定位置にある方があわてずに目的のページにたどり着くことができます。ご提案いただいた保健コーナーは、毎月掲載していますが、その都度ページが変わります。いざというときを考えた場合、定位置にある方が安心と思えますので、引き続き最終ページの2ページ前の「定位置」に掲載したいと考えています。

4. 消費者対象に農業のPR（生産者対象にはJA・NOSAよりあり）。

回答 農業は、九重町の基幹産業のひとつということだけでなく、私たちの命を支えるものとして、とても大事なものだと考えています。最近では消費者の安全・安心の農産物指向が強く、農への関心も高まっています。地産地消やスローフードという言葉も良く耳にするようになりました。これは一時的なブームではないと考えています。例えば、今月号13ページの記事のように生産者と消費者の交流を伝えるなどしながら、「農をめぐると今・これから」を積極的に紹介していきたいと考えています。

広報ここのえ以外にも様々な提案・意見をいただいています。その一部を簡単に紹介します。

1. 釘野遺跡は碑が建立されているが、説明がないので遺跡等文化財・碑説明板を設置すべきでは？

生涯学習センター回答

設置の方向ですすめます。

2. 見晴らしの湯（温泉館）について

保健福祉課回答

(1) 公衆浴場は清潔が第一。毎日、浴室の掃除をしてほしい。

「清掃衛生管理チェック表(35項目)」で毎日衛生が保たれるよう管理しています。浴槽内の清掃は週1回ですが、細菌等が発生しないよう源泉温度を60度以上に加温しています。足ふきマットは1日2回取り替えています。

(2) 町外者の利用料金が高いのは、町外者にとって気分が良くないのでは？

温泉館の本来の目的は町民福祉向上です。このため、現状の料金体系で理解をいただきたいと思えます。

(3) 「浴槽に入るときは必ず身体をきれいに洗ってから入る」・「浴槽内にタオルをつけない」よう受付窓口で徹底してほしい。

「入浴上の注意事項」を施設内に何方所か貼って徹底していますが、今後もさらに徹底します。



引き続き、町民のみならずへ様々なぬくもりをお届けします

お宅のお風呂は大丈夫!?

レジオネラ症の発生防止に向けて

レジオネラ肺炎は、病勢の進行が早く致死率が高い感染症

レジオネラ症は、レジオネラ菌の感染によって起こる感染症で、肺炎を中心とする「レジオネラ肺炎」とインフルエンザに似た非肺炎型の熱性疾患「ポンティアック熱」があります。特に「レジオネラ肺炎」は、病勢の進行が早く、急激に重症になって死亡する場合があります。

レジオネラ菌は、浴槽・循環配管などのぬめり（生物膜）で増殖

レジオネラ菌は、土壌・河川・湖沼などの自然環境に広く生息しています。お湯を循環る過して長時間使用する「24時間風呂」では、浴槽や循環ろ過装置の清掃消毒を怠ると、内壁にはぬめり（生物膜）

が形成され、レジオネラ菌やレジオネラ菌が寄生するアメーバなどの温床となり、浴槽水に供給されます。この浴槽水に起因するレジオネラ菌を包んだシャワーのような細かい粒子（エアロゾル）を肺まで吸い込むことにより感染することがあります。

浴槽などの清掃の徹底を

レジオネラ菌の増殖を防止するためには、ぬめり（生物膜）が発生しないように、浴槽水を毎日換水するとともに清掃を徹底することが重要です。特に「24時間風呂」の場合は、浴槽や循環配管内にぬめり（生物膜）が形成されやすいため、取扱説明書に従い、浴槽・循環系の清掃消毒を徹底する必要があります。

詳しくは日田玖珠保健所玖珠支所（☎72-1150）または県庁食品衛生課（☎097-536-1111 内線3053）までおたずねください。

性について考えてみませんか。保健

リプロダクティブ
ヘルス

リプロダクティブヘルスとは、人間の生殖にかかわるシステムにおいて、健康であることをいいます。

人々が安全で満ち足りた性生活を営むことが出来、性について自己決定が出来ることが必要です。

このような性における健康を保つためには、まず、性に関する正しい知識を持つことが大切です。特に、今後の健康を大きく左右する思春期時期はとても大事な時期となります。

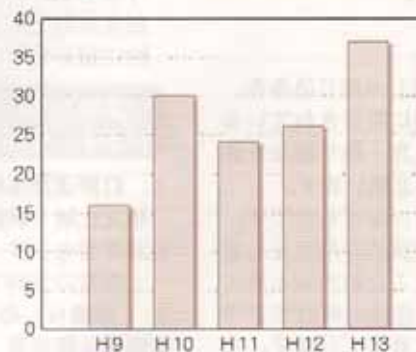
「健康ここのえ21計画」では、思春期及び壮年期において右記のような課題があります。



望まない妊娠や10~20代の性感染症の増加など、思春期における性に関する問題が全国的に大きくなっています。健康ここのえ21計画の実態調査では、高校生で性行為をしてもよいと答えた高校生は半数を超えています。しかし、性に関する正しい知識を持っている子どもは、男子で約3割、女子が6割と少ない状況です。

更年期障害があると感じている人は、男女とも50歳代で増加しています。しかし、上手な付き合い方を知っている人は、全体の17.1%となっており、性に関する相談も出来にくい状況となっています。

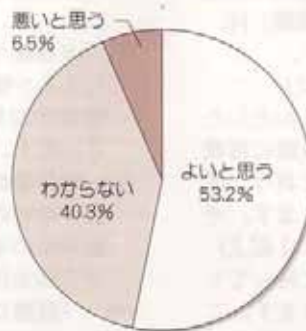
★性感染症や望まない妊娠が増えている若い世代



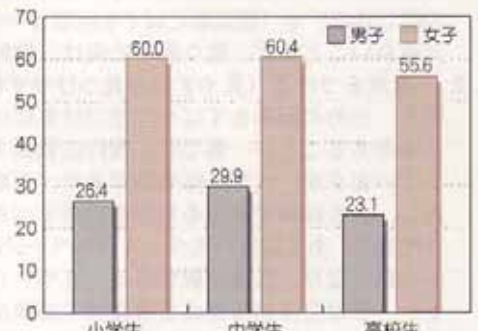
20歳未満の人口妊娠中絶数 (日田玖珠管内)



性感染症の推移 (全国)

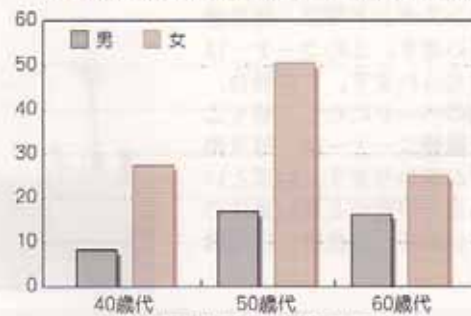


高校生での性行為に対する意識 (健康ここのえ21計画より)



性に関する正しい知識を持った子どもの割合 (健康ここのえ21計画より)
※年代ごとに質問項目が異なります。

★更年期障害などの性の悩みがある50代



更年期障害があると感じる人の割合 (健康ここのえ21計画より)

更年期障害との上手な付き合い方を知っている人は、全体の17.1パーセントでした。

平成16年度版「母子健康手帳」表紙デザイン募集

- ① 母子が親しみやすい図柄を15センチ四方程度にまとめたもの
- ② 原則カラー。他に未発表のもの
- ③ 作品の裏に住所・氏名・年齢・連絡先の電話番号を記入
- ④ 応募作品は返却しません。採用作品の著作権は大分県に帰属。

応募先及び問い合わせ先

〒870-8501 大分市大手町3-1-1
大分県福祉保健部健康対策課母子保健係
☎097-536-1111 (内線2672)

締切 平成15年12月19日(金) 必着



子どもの性に関する講演会

日時: 平成15年12月3日(水) 午後7時~
場所: 九重文化センター

講演内容

「日田玖珠管内における子どもの性の現状と課題について ~子どものために地域で何が出来るか」

講師: 済生会日田病院・院長 西田敬さん
主催: 九重町青少年健全育成協議会連絡会
九重町

ぽうっと 寄りたくなる場所に

飯田にデイサービスセンター・プラトーがオープン



飯田地区に念願のデイサービスセンターができました。ケアポート溪和などを運営する豊山会が飯田高原診療所の旧建物を町から借り受け改造したもので、名前はプラトー。高原という意味です。

デイサービスセンターは、町内に2カ所あるもの、飯田地区からの交通の便が悪いので、利用しにくく、「飯田地区にデイサービスセンターを」が長年の夢でした。

昭和50年建築という旧飯田高原診療所を、約1ヶ月かけてリフォームしたプラトーは大きく様変わり。プリティッシュグリーンという濃い緑を基調にした英国風の落ち着いた佇まいが付近の風景に良くとけ込んでいます。中に入ってみると、これまた様変わり。「以前の建物を知る人」はほぼ例外なく驚きます。付近の住民は「飯田に光が差したような感じがします。パッと明るくなりました」、「みんなが喜んでいて。言うことなし！」と新しい施設を歓迎しています。

ここが提供するサービスは介護保険メニューのデイサービス（通所介護）。高齢者の要介護状態の進行などを防止するもので、「とても楽しい」と人気の高いサービスです。1日20人までの受け入れが可能というプラトーのセールスポイントは建物同様、しゃれた演出・園芸療法・昼食がバイキング形式になっていること。園芸療法は、土や花・野菜などに直接ふれることで昔を思い出し、心の安定や身体機能の回復を目指すもので、最近注目を集めています。

豊山会理事長の矢原澄郎さんは「近所に学校が多いので、子ども達の情操教育にも役立ててほしいと思います。また飯田地区のボランティア活動にもどんどん参加したいし、受け入れもしていきたい。みなさんに愛される施設にしていきたいです」と話していました。

デイサービス（通所介護）は、在宅の要介護・要支援高齢者を日中受け入れ（送迎付）、健康チェック・入浴・食事・レクリエーションなどのサービスを提供するものです。

デイサービスセンターは町内に社会福祉協議会・シルバーランドメルヘン・プラトー・明友（南山田に10月1日オープン）の4カ所があります。またケアポート溪和にはデイケアセンターもあります。利用料は1日あたり800円から1,100円程度（プラトーの場合）。利用するには介護保険の要介護認定を受ける必要があります。介護保険については役場保健福祉課（☎76-3802）まで。



▲職員のみなさん



プリティッシュグリーンのテーブルクロスが食卓をリッチに演出（開所式にて）

▼以前はレントゲン室だったという浴室。特浴対応で寝たきりの人も利用できます。



▲マキストープ火がついていなくても暖かな雰囲気広がります。

● 九重の自然で元気ハツラツ！ ●

中津市の健康づくりグループ「元気ハツラツの会」と九重町の「健康体操教室」の交流会が10月9日、九重文化センター体育館で行われました。

二つのグループをつないでいるのは、健康運動指導士の山本幸雄さん（梶屋）。山本さんは町内外の健康体操教室での講師として活躍しています。昨年、山本さんが中津市の健康教室で指導したのをきっかけに今年4月誕生したのが、「元気ハツラツの会」。ゆかりのある九重町で研修を、と30名が訪れました。絶好の青空の下、午前中は長者原の温泉を散策。午後は九重町の健康体操教室と合流、山本さんの指導を受けながらの体操を楽しみました。元気ハツラツの会・会長の佐野治子さんは「九重はとっても気持ちが良いです。これからも定期的に九重町を訪れたいと思います」。また、参加者からは、ススキがとてもきれいだったなどの感想も聞かれました。同会のみなさんは、体操のあとは温泉へ。心身ともにリフレッシュできた様子でした。



『在宅要介護高齢者家族支援制度について』

《目的》 在宅の要介護高齢者の主たる介護者に対して介護用品を支給し、家族介護者の経済負担を軽減することを通じて、在宅の要介護高齢者及びその家族の福祉の増進を図ることを目的としています。

《対象者》 介護支援を受けることができるのは、要介護高齢者（九重町に引き続き1年以上住所を有する満65歳以上で、介護保健要介護認定4以上の判定を受け、介護用品【紙おむつ・尿取りパット・使い捨て手袋・清拭剤】を常時必要としている方）の主たる介護者の方です。

※ただし、要介護高齢者が、死亡、施設等に入所又は病院等入院、転出した場合は、停止となります。

《支援の内容及び支給の方法》

介護支援については、主たる介護者に対し、要介護高齢者1人につき、次の表に定める金額を、介護用品現品と引き換えのできるクーポン券で支給します。

要介護度	課税非課税別	支給月額
要介護度 4	住民税課税世帯	4,000円
	住民税非課税世帯	6,000円
要介護度 5	住民税課税世帯	4,000円
	住民税非課税世帯	6,000円

《問い合わせ先》

- 東飯田、南山田地区の方 →
九重町在宅介護支援センターメルヘン ☎76-3500
- 野上、飯田地区の方 →
九重町在宅介護支援センター溪和 ☎78-8280

または 保健福祉課 ふれあい福祉係
☎76-3802

私たちに働く機会をください

わ～くす・たんぼほでは今、利用者の職場実習先を探しています。

この実習は、利用者が近い将来に就職するため、または将来的に就職するためにいろいろな経験を積むものです。

現在、就職を希望している利用者もいますが、なかなか受け入れ先が見つかりません。障害を持った人が、自分の生まれた町で自分自身の力で生きていくために働く機会をください。

ご連絡いただければ担当職員がお伺いし、説明させていただきます。

お問い合わせ先

わ～くす・たんぼほ

☎73-9110 担当 高田

職場実習の受け入れ先を探しています

『寡婦医療費助成について』

《目的》 寡婦（配偶者のない女性であって、かつて配偶者のない女性として20歳未満の児童を扶養していたことのある60歳以上70歳未満の方）の生活の安定と福祉の向上を図ることを目的としています。

《助成対象者》 医療保険各法（健康保険法・船員保険法・日本私立学校振興・共済事業団法・国家公務員共済組合法・地方公務員等共済組合法・国民健康保険法）の規定による被保険者であり、九重町内に住所を有する一人暮らしの寡婦の方です。

《助成の制限》 次のいずれかに該当する場合は医療費の助成を受けることができません。

- ① 生活保護法、その他の法令等により、医療費の全額給付を受ける人。
- ② 町民税を課税されている人。
- ③ 助成対象者が負担すべき額が同一医療機関等について1月1,000円に満たないとき。

《助成金の給付》 受給資格証の交付の申請を町が受理した日から、受給資格を失った日の属する月（満70歳の月まで）の末日までに受けた療養に対して給付されます。

助成の額は、助成対象者が一部負担を支払った場合、支払額に対し2分の1を助成します。

《問い合わせ先》

保健福祉課 ふれあい福祉係 ☎76-3802



人は人の中に生きて輝く

「この子がいたからこんな人生しか送れなかった、ではなく、この子がいたからこそ、これほどの人生が送れたと言える人生を皆でつくろう」
重度・重複障害というハンディを持つ人たちの地域生活を広げてきた通所施設「朋」を記録した映画です。

11月21日（金）

日田市中央公民館（文化センター）

17：30開場 18：00バンド演奏 18：30上映

入場料 500円（小中高生・障害者は無料）

* 日田養護学校県立移管20周年記念行事

公式ホームページ

http://www.motherbird.net/~tomo_haha

観た人の感想から（チラシより）

- 大変面白い映画でした。生きるというのは明るいことだとわかりました。
- 「生きる」ということ。いかに自分（達）が軟弱であったか知らされました。
- 涙があふれました。

映画・朋の時間～母たちの季節



▲こちらはまんじゅうと豆腐づくり。
あんこのおいしさに感動。
佐藤八千子さん（相扶間）宅にて。



▲江藤一幸さん（麻生釣）宅では
野菜の出荷のお手伝い。



▲女子高生はなぜか軽トラの荷台がお気に入りで、「ジェットコースターより楽しい」とか。危ないので絶対マネをしないでください。

ありえないほど楽しかった！

10月9日、埼玉県川口市の県立川口高校2年生約160名が修学旅行で九重町を訪れ、農作業体験をしました。

川口高校では、昨年より修学旅行のコースに農業・農村体験を取り入れています。これは、農業とふれあうことにより、自分の世界を広げてもらおうと計画されたもので、昨年は岩手県を訪れています。

農作業体験を受け入れたのが、九重グリーンツーリズム研究会を中心とした32の農家。内容を見ると、米や梨・トマト・しいたけの収穫やまんじゅう・豆腐づくりなど多岐に渡っています。農作業が終わった後、釣りやボート遊びを楽しんだグループもあったようです。

生徒は4、5人のグループに分かれ、農業・農村体験をし

ました。「回りは山もなく、コンクリートだらけ」という生徒全員が農作業体験は初めて。農業のイメージを聞いてみると、早起き・稲刈り・腰が痛そうなどさまざま。しかし、初めて目にする光景・食べ物に興味津々の様子で、インタビューした生徒のほとんどが将来農村に住んでみたい、と答えていました。「コンビニがあれば住みたい」と現代っ子らしい答えもありましたが、中には「田舎に住んで子どもを6人産む」という女生徒も。

感想を聞いてみると、「ありえないほど、（新米の）ごはんがおいしかった」や「ありえないほど楽しかった」など、「ありえない」とは、埼玉の高校生の言葉で「とっても」というような意味だそうです。



▲「グリーンツーリズムは楽しいですね。喜んでもらうと、こちらもうれしくなります。交流することにより、違う人の視点で農業を見ることで、農業観が良い方向に変わってきますね」と佐藤恵美子さん（茅原小野）



▲梅木ひとみさん（串野上）宅では田舎料理を心ゆくまで。初めて目にする料理ばかりでしたが、「とっても、おいしいー！」と大評判。



▲佐藤博美さん（後河内）宅では稲こぎを「みんな一生懸命テキパキとしてくれましたよ。午後だけで2枚しました」と佐藤さん。「お別れに握手してください」と高校生から。

119番通報は落ち着いて正確に！

こちら 119番



消火活動や救急活動は一分一秒を争う時間との勝負です。

もし、通報者があわてて場所を正しく伝えられなければ、被害が拡大したり、命が助からなくなる場合もあります。

正しい119番通報が、迅速・的確な消防活動につながります。「私は火事や事故を起こさないから必要ない」とか、「あわてないで通報できるから大丈夫」といった過信は禁物です。

事実、火事の時、自宅の住所が言えなかったり、急ぐあまり正確に伝えられなかった通報もたくさんあります。119番通報で大切なことをまとめると、次の5点です。

- ① 「火事です」「救急です」とはっきり言うこと。
- ② 住所は正しく、目印となる建物なども伝えること。
- ③ 火災・事故等の状況を正確にわかりやすく言うこと。
- ④ 通報者の氏名と今かけている電話番号を伝えること。
- ⑤ いざという時に備え、電話機のそばに自宅の住所や電話番号などのメモをはっておく。

14年間休みなし！ 佐藤公信さん



寿大学を14年間、皆出席（無欠席）で続けている人がいます。

佐藤公信さん（後野上）。現在87歳、日頃の勉強のおかげか、とても若々しく見えます。

佐藤さんが、寿大学に入学したのが70歳のとき。仕事に区切りがついたのと、人を知るため勉強しようかなあ、と思い立ちました。佐藤さんの父親の積次さん（当時はすでに死亡）も寿大学に参加していたのも理由のひとつです。

これまで園芸や郷土史などを中心に研究。九重町と縁の深い宮崎県綾町まで出かけたこともあるそうです。今でも様々なことに興味を持ち続けています。そんな佐藤さん、「実は学校の成績は良くなかったんですよ」と話します。

佐藤さんが勉強好きになったのは、小学校6年生の時。ある体験がきっかけに。「当時学校では、試験に合格し

た子から外で遊んで良い、というところがよくあったんですよ。佐藤さんはいつも居残り組だったそうです。

「ところが、木村先生と書いたのですが、ある日、試験ができていないのにもかかわらず、外で遊んで良い、と言われたんですよ。外に出て遊んでみると、友だちが「お前本当にできたんか？」と言われたんですよ。先生に聞くと「うん、できた」。それ以来、先生が好きになってですね。先生が理科を教えていたので、まず理科を一生懸命勉強するようになりました。」

佐藤さんが生まれたのが大正6年。この頃に生まれた人の青春は戦争とともにあったと言えます。佐藤さんも陸軍・海軍の技官として外地を渡り歩きま

した。「世の中のことは戦争でわかりました。人間はどこまで動けるのか。せつば詰まったとき、どうすればいいのかを学びました。戦場に出る零戦を見送り続ける日々でした。」

「30機戦に出で、2機しか戻ってこないこともありまして。その数のあまりの少なさに、敗戦を昭和18年頃から予想していたと話します。もちろん、当時はそんなことを口にすることは

できません。そして、台湾で終戦。28歳で国内へ引き上げました。

戦後は、実家の製材所を経営。しかし昭和43年に倒産。軍隊時代の縁で大手の建設会社に入社、各地を渡り歩きます。黒部ダム

の建設にもかかりました。きつくて危険な作業をしてきたと話します。その後もいくつかの職歴を経て、70歳を機に退職。仕事漬けの日々だったと振り返ります。

「いざ、入学してみると、中身が充実していてびっくりしました。新しい話を聞き、吸収するのが楽しかったですね。」

入学した次の年、1回だけ欠席したことがあります。それがなければ、16年間皆出席になります。

こんなに長く皆出席が続くとは思っていません。

「10年前、脳血栓で湯布院厚生年金病院に入院したことがあったんですよ。普通なら出席できないんですが、病院が理解を示し、そこから通うことを許可してもらいました。出席したときの、友だちのびつくりした顔を見るのが、楽しかったですね。」

これが弾みとなり、出席を続けることが楽しくなってきました。

「寿大学での友だちもたくさん

できましたが、とうとう昨年で、入学以来一緒だった人も来なくなりまして。最近、地区の役員などを辞めると周りとの関わりが少なくなってきたので、寿大学は、そう言った意味でも楽しみです。」

ところで、勉強の魅力は何でしょう。

「新しいことを知ること、良い方向へ向けてくれる。自分自身もやる気が起こり、知らないことがあると、掘り起こしてみようと思うようになります。」

3年前からは大分県の高年大学にも参加。昨年からはマスターコースにもチャレンジしました。

「自分が欠席した日に、どんな良い話があったのだろう」と考えられると、気になり欠席できなかつた、と笑う佐藤さん。

現在15年目の皆出席に挑戦中です。



▲ただ今、授業中

マイペースでつかんだ大きな賞



▲暗算中の河野君。空想のそろばんをはじきます。

野上で週3回開かれているそろばん教室。「願ひましては……」先生が次々に読み上げる3桁の数字が響きます。今行われているのは暗算問題。読み上げ暗算が得意という河野良輔君（西）は、机上に、あたかもそろばんがあるように指を動かしながら、先生の読み上げる数字を足していきます。

その数字を10口言い終えて、「……では？」。河野君が答えます。もちろん、正解。

河野君は、7月13日に行われた全国あんざんコンクールで見事金賞を受賞しました。金賞は、県内から集まった約40人の中で、特に得点の高い5名に与えられるものです。

河野君がそろばんを始めたのが小学校1年生のとき。「友達に誘われて」でしたが、徐々に面白くなっていきます。「おおらかでよくよいしな性格が良い」と思い、

輝いていますか？

今年度の「男女が共に輝く地域セミナー」が10月5日に閉講しました。

このセミナーは、性別に関わりなく男女が対等な立場で能力を発揮できる社会をめざし行われるもので、7月4日の第1回以後これまで5回開催されてきました（延べ参加者は176名）。テーマは「女性と高齢社会」「ドメスティック・バイオレンス」など様々。閉講式の日に行われた5回目の講義は、大分合同新聞社ミックスの編集長・佐藤雅秀さんをお迎えして「世界・日本・地域・家族」。世界情勢の話では、やがて訪れるであろう食糧危機の問題、国内では人口の減少・市町村合併問題などを取り上げながら、「これからの社会は同じ地域で共生をはかっていくことが必要」と佐藤さんは話していました。大変興味深い話に受講生のみなさんは熱心に聞き入っていました。

講演終了後には閉講式が行われ、皆勤賞5名・（1回欠席の）努力賞15名が表彰されました。



◀ 皆勤賞のみなさんへ表彰



☆セミナー参加の鷺頭洋子さん（無田中一）のレポートです。

男女が共に輝く地域セミナーに参加して

私は、以前よりセミナー受講を強く希望しておりました。その日、8月21日。いつもあるユリの花の収穫もなく、（朝の無線放送の）お知らせを聞き、「よし、今日こそは行こう」と決め、なぜか1日ドキドキしてしまいました。

講師の立花信一先生は透析を30年続けているにもかかわらず、にこやかに講演してくださいました。現在、1日おきに透析しなければいけないというのに九重山に、もう何度も登られています。趣味で写真もされ、すばらしい雪の三俣山の写真も見せていただきました。また桑野さんというパートナーをご一緒され、ギター片手に歌も披露してくださいました。とてもすてきな声とギター演奏で、生き方と心情を私た

佐藤雅秀さんの講演から

* 1995年、世界の食糧生産がピークを迎え、その後落ちていく（農家が減り、水もなくなっている）。一方、人口が急速に増えており、近い将来、必ず食糧危機がやってくる。

* 日本人は一人で3人分を食べている計算になる（流通や食べ残しでかなりの分を捨てている）。1人前以上食べているのは世界中で10カ国だけ（2千万人）。やっと1人前食べているのが1億人。

* 日本は、生産能力の50%しか使っておらず、食糧自給率は40%だが、もし食料輸入がストップしたら、鎌倉時代の食事に戻さなければならない。

* 日本は今年が人口のピーク。その後、減っていき2050年には人口5千万をきる。

* 大分県は1999年が人口のピーク。その後減っており、数年のうち九州で一番小さな県になる。

* 日本が世界で生き残れるとしたら、工業技術では「燃料電池・超伝導・蓄電池」。農林業では「土と水・木材」（砂漠化でこれらのものが急速に減っている）。

* 自然を守りながらの農業や、住民が主役になった環境に配慮したまちづくり（トキ復活プロジェクト→8ページ参照、ホテルを呼び戻す運動など）は大変良いこと。将来、農業が残る地域は九重町かも、と思ったりする。



ちに講演してくださいました先生の姿は、とても1日おきに透析を必要とされている人には思えませんでした。先生の言葉の中で「心は年をとらない」という言葉に感銘し、共感しました。まさにその通りだと思います。そして「平等な社会とは、それぞれの立場や権利を考えることはもちろんだが、まずは心から相手を思いやってお互いに支え合うことから始まる」と話されました。

いつも受講したいと思っているセミナー受講がやっと出来、本当に良かったです。これからも機会を利用し、輝ける女になれるよう、刺激をいただきたいと思いました。



「算数の授業やお金の計算のときに役立つ」と河野君。「まだ将来の夢はない」そうですが、この努力が将来の大きな力になるはずですよ。

「そろばんで学んだ地道な努力をする大切さをこれからも生かしてもらいたいです。できればこれからも続けてもらいたいです」とも。

「河野君の上達には家族の協力も大きいと藤原さんは話します。お母さんの安代さんに聞いてみると、「気分が乗らない日は無理せず本人の意思を尊重してきた」そうです。

「河野君の上達には家族の協力も大きいと藤原さんは話します。お母さんの安代さんに聞いてみると、「気分が乗らない日は無理せず本人の意思を尊重してきた」そうです。

「河野君の上達には家族の協力も大きいと藤原さんは話します。お母さんの安代さんに聞いてみると、「気分が乗らない日は無理せず本人の意思を尊重してきた」そうです。

「河野君の上達には家族の協力も大きいと藤原さんは話します。お母さんの安代さんに聞いてみると、「気分が乗らない日は無理せず本人の意思を尊重してきた」そうです。



九重町立淮園小学校栗原分校

① 栗原分校の紹介

栗原地区は、九重町のほぼ中央に位置し、標高700mにあります。近年四季彩ロードが開通し交通の便がよくなりました。

淮園小学校栗原分校は、年々児童数が減少し、今年度は児童数3名（1年1名／3年1名・4年1名）の2クラスですが、にぎやかに毎日過ごしています。分校ならではの個性に応じた授業や特色ある活動も行っています。

② 楽しい交流

本校である淮園小とは、年間を通して交流しています。特に運動会練習の期間中は一日を本校で過ごします。同級生と、授業や掃除・給食などをともにすることで、学習や仲間作りの楽しさを学ぶことができました。

8月の分校七夕会では、小野原分校の子どもたちと交流を行いました。台風の影響がありましたが、室内でゲームをしたり夜遅くまで語り合ったりして充実した会となりました。分校同士ということもあり、お互いのがんばりが刺激になったようです。3学期には、小野原文化祭に親子で参加し、親睦を深めます。また、今年から日田養護学校との交流も行っています。



③ 発信！くりばるスローフード

今年の総合的な学習では、保護者や地域の方のアドバイスを受けながら野菜作りを行いました。先日、子どもたちが春に植付けをしたさつま芋を収穫しました。りんごの形をした芋や大小さまざまな芋に、子どもたちは大感激。芋掘りの後は、やきいもパーティーです。木切れや落ち葉を集めて焼いた芋は、甘くてほくほく。実りの秋を感じることでできた1日でした。

春には山菜取り、夏には夏野菜の収穫…栗原には豊かな自然がいっぱいです。野菜作りと「食」を通して、人と人、自分と地域、自然との関わりを学習していきたいと思っています。

また、ハムスターや金魚を育てることによって「いのち」の大切さにふれる活動も行っています。



④ 栗原文化祭

12月には、恒例の栗原文化祭が予定されています。午前中は、地域のおじいちゃんおばあちゃんが先生になってのおもちつき、午後からは学習発表会を行います。もち米は、子どもたちが地域にお願いをして分けていただいたものを使います。学習発表会では、「栗原の四季～草花調べ」の発表や話し方、おうちの方による寸劇や親子合奏が行われます。

デビットさんの英会話教室・好評開催中

みなさん
一緒に英語を
楽しみましょう！



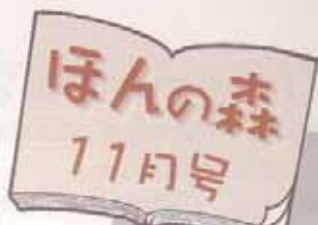
外国語指導助手（ALT）として活躍しているデビット・ヴィクターさん（アメリカ出身）による英会話教室が好評開催中です。

この教室は、習熟の度合いによって「初級・中級」「上級」の二つのクラスがあり、誰でも楽しく学べるようになっています。

開催は毎週水曜日。「初級・中級」が午後6時から、「上級」は午後7時からです。対象は高校生以上（大人が中心）で、会費は月1,000円。

参加申し込みは生涯学習センター（☎76-3888）まで。

図書館だより



霜月に入り、文字通り霜がおりる寒い季節になりました。

この時期の悩みは「こたつや布団の中で本を読んでいると、手だけが冷たくなる」こと。

「ページをめくる機械がほしい!」と思ったことはありませんか?…残念ながらそういう商品は無いようです。やっぱり「次はどうなるの?」と自分の手でページをめくることが、読書の醍醐味なのかもしれませんね。そんなことを考えつつ、今晚も本を開くいたしますが。

図書館開館時間

平日 10:00~18:00
土・日 9:00~17:00
月・祝 休み

新着本



『ダーリンは外国人』

小栗左多里/メディアファクトリー/高校生~一般
漫画家さおりさんの結婚相手は外国人トニーさん。俗に言う国際結婚の現実とは?毎日が不思議だらけという二人の生活を綴った爆笑マンガエッセイ!彼女のことを「マイハニー」と呼ぶんだらうか…「外国人との暮らし」と聞くと、ロマンチックな世界を思い描いてしまうあなたにぜひ読んでほしい一冊!ところでトニーさんは彼女を何と呼ぶの?どうぞ本を読んでご確認を。



『ゆうことカリンのバリアフリー・コミュニケーション』

芳賀優子・松森果林/小学館/小学館/中学~一般
こんな方にこの本を捧げますー「何かお手伝いすることありませんか」と言ってみただのに、見当がつかない方。病院や高齢者施設で老人医療にたずさわる方。理解の足りない健常者に腹を立てたことのある障害をもつ方。等々、大勢の方に読んでほしい必読書。著者は視覚障害者(ゆうことさん)と、聴覚障害者(カリンさん)。障害のある人とない人のコミュニケーション・ギャップを埋める会話術・交際術を書いた本。役に立つだけでなく、読む人の心のバリアをとりはらいます。

『親のこころ』

新潮社/中学生~一般

「親のこころ子しらず」といいますが、子どもにもちゃんと親の気持ちが届いています。

10代の若者からおじいさんおばあさん、歴史上の人物まで…誰もが親から生まれた“子ども”。そんな様々な子ども達があかした“親のこころ”。「母の残した最後の言葉」「忘れられない父のひと言」等々、切ないエピソードに思わずジーン。涙腺の弱い方はご自宅でごゆっくりお読み下さい!

『スポーツドクター』

松樹剛史/集英社/一般

一見、題名だけ見ると実用書のように見えますが、小説すばる新人賞受賞作家最新の書き下ろし長編小説です。バスケット部の高校生、リトルリーグの少年、トップ水泳選手・・スポーツドクターのもとを訪れるアスリートたちの光と影。スポーツで高めた傷のおこころ側には思わぬドラマが…。問題を解決しようと奮起する人々の姿を描く、ひとおじ遣う医療系小説。



『くさいはうまい』

小泉武夫/毎日新聞社/一般

世界で一番臭い食べ物のひとつがスウェーデンのニシンを発酵させた缶詰「シュール・ストレンミング」。その臭さは猛烈というより激烈。発酵によりパンパンにふくらんだ缶は「家の中で決して開けないこと」。そして「風下に人がいないかどうかを確かめて開けること」。こんな世界中の「臭くて美味しい」食べ物の話が満載。この本、「においますぞあ〜」。



新着本 続々

- | | |
|--------------------|----------|
| 恋ほおずき | 諸田 玲子 |
| 交換日記 | 柳 美里 |
| 日曜日たち | 吉田 修一 |
| 蛇行する川のほとり 3 | 恩田 陸 |
| 殺人の門 | 東野 圭吾 |
| 武家用心集 | 乙川優三郎 |
| きみまる流 | 綾小路きみまろ |
| カルロス・ゴーン経営を語る | カルロス・ゴーン |
| 猫を喰った話 -ハンセン病を生きて- | 崔 龍一 |
| 指先で紡ぐ愛 | 光成 沢実 |

九重の自然を描く絵画展



今年で12回目となる「九重の自然を描く絵画展」が10月19日から26日まで九重文化センターでおこなわれました。今年

の出品数は水彩画・油絵・日本画など125点。約2割の人が初参加になります。実行委員会によると年々中身が充実しており、町内から出展も過去最大の18名。絵を親しむ機運が広がっているようです。「気軽に絵を始めることができるように、各地区の公民館で絵画教室ができれば、と思います。今後も絵画人口を増やすだけでなく、絵を通じてふるさとの良さを見直してもらえよう続けていきたいです」と実行委員の一人は話していました。

お宝拝見~我家(私)の宝物展



我家(私)の宝物展が10月19日から28日まで九重町歴史資料館(九重文化センター内)で行われ、期間中901人が会場を訪れました。

この催しは今年初の試みで、集まったお宝は22人から84点。掛け軸や古文書が多かったようですが、中には、置き薬のパッケージや子ども育児日記・有名人のサイン色紙も。訪れた人たちは普段見かけることのないお宝の数々にじっと見入っていました。



秋日和……俳句を一句

9月26日、九重町役場で第11回長野馬貞顕彰俳句大会が行われました。

長野馬貞は、九重町出身の俳人で、江戸時代に活躍。松尾芭蕉晩年の弟子・野坡の門下であり、その作風は、芭蕉が初期もっていた「わび・さび」、晩年見られた「軽み・通俗性」の両方をもっていました。

この大会は、馬貞の偉業を伝えると共に、俳句を通じて文化の向上・心の豊かさの広がりを目指そうというもので、指導者として倉田紘文先生・足立雅泉先生をお迎えしました。県内外から応募のあった240句の中から両先生が選んだ特選20句・佳作40句の表彰を行ったほか、当日参加者から投句を集め、その腕前を競う催しも行われました。



秋日和……山里に佳き祭りあり

菅原天満宮の秋祭りが9月27・28日に行われました。今年は、菅原道真没後1100年を記念し、道真の39代目の子孫にあたる太宰府天満宮宮司の西高辻信良さんをお迎えし、記念植樹などを行いました。これは、昨年、菅原天満宮から太宰府天満宮へ、総勢150名以上による杖や太鼓の楽を奉納したことをきっかけに実現したもので、このほかに境内の拡張・梅園づくり・記念碑の建設などを記念事業として行いました。

以前、このお祭りでは牛の行列がみられましたが、時代の推移と共に畜産農家が減り、続けることが難しくなり消滅。その際、数十年途絶えていた奉納楽を復活させようという動きが出ます。そして平成7年、ついに奉納楽が復活。「奉納楽が復活してから、年々盛り上がっていますね。毎年、この時期が来ると血が騒ぎます。練習は10日くらいかな。もう体が覚えています」と奉納楽の杖で参加の男性は話していました。

この日の奉納楽は杖や太鼓・笛など総勢100名以上が参加。たいていは、バッチリと決まる杖もたまには失敗することもあります。見事に決まったときの拍手あり、失敗したときの笑いあり、と秋日和の山里は穏やかな雰囲気にも包まれていました。



▲氏子地区の区長のみなさん

シリーズ・
地域力
Vol.3

コスモスで結ぶ地域の和

～富迫地区

秋のきれいな青空に映えるコスモスの花。群生して咲くもの、道ばたに一輪だけ咲くもの、様々ですが、その可憐な姿は私たちの目を楽しませてくれます。コスモスにちなんだ地域づくりを続けているところがあります。南山田の富迫地区です。

富迫地区とコスモス。きっかけは昭和59(1984)年に廃止となった宮原線。線路跡地の草切りなどをすするうち、ここにコスモスを植え、花咲く頃にはイベントをしようというアイデアが出てきます。そして、第1回コスモス祭りが開催されたのが平成元年。以後、青壮年の会(現在13名)が中心となり、婦人会や老人会・子ども会などが加わりながら、年3回の草切りなどをし、地域がひとつとなった取

り組みにしています。この他に青壮年の会は元旦祭やどんど焼きなどでも地域活性化に取り組んでいます。以前は九重氷の祭典の雪像づくりもしていました。

コスモス祭りは、年号どおりだと、今年で15回目のはずですが、平成3年は台風19号のため中止。14回目となるコスモス祭りが9月28日に行われました。

今年は、冷夏長雨の影響もあり、コスモスの咲きは今ひとつでしたが、当日は青空の広がる絶好のお祭り日和。子どもからお年寄りまで約60人が参加し、おいしい料理と酒、そしてコスモスの花を味わいながら、出し物や歌謡ショーなどで秋の一日を楽しみました。



◀今年イベント用の施設も一新

ま ち の 話 題

感謝の気持ちを込めて…走る・走る・走る
九州選抜高校駅伝

飯田高原・千町無田一帯で10月5日、九州選抜高校駅伝が行われました。九州の高校駅伝の強豪が集まるこの大会、ライバル校の實力を知る絶好のチャンスと選手たちにもすっかりおなじみになっています。8回目となる今年は、21チームが参加。九州学院高校（熊本県）が優勝しました（2位は白石高校・3位は鎮西高校）。

多くのボランティアによって支えられているこの大会、14年前から始まった倉宿の受け入れがきっかけで始まりました。その頃から関わってきたのが、高倉秀典さん・京子さん夫婦（北区）。選手との交流が続いています。「最初はなぜしなきゃならないんだろ」と思っていました。しかし、次第に楽しみになってきました」と笑う京子さん。大会の数日前から選手の食事を担当。旺盛な食欲を支えています。「子ども達がおいしそうに食べるのを見るのが何よりも楽しみでずっと話します。選手たちは、支えてくれる多くの人に感謝の気持ちを表すように、秋の高原を走っていました」。



▲前日の夕方には、泉水グリーンパーク体育館で開会式がありました。選手210人に対して、開会式の夕食で使われた米は2斗（1升の20倍）、ひとり軽くどんぶり2、3杯は食べます。



▶高倉京子さんらボランティアを囲んで（厨房にて）



ま ち の 話 題

今年も熱い！～町民体育大会

今年度の成績は次のとおりです。
総合優勝 南山田支部
準優勝 東飯田支部
3位 野上支部

当日は、あいにくの雨で、屋内競技のみとなりましたが、選手たちの熱いプレーに声援がとんでいました。

盛高体育協会会長の「スポーツを通じて親睦と融和を深めるだけでなく、時代の流れと共に失われつつある地域の連帯感を強めてほしい」とあいさつ。昨年優勝の南山田支部からの優勝旗返還などが行われ、「最後まであきらめずにプレーします」と鶴原宏紀君（野上支部・少年野球出場）が選手宣誓。競技が始まりました。

九重文化センター体育館で行われた開会式では、まず町民体育の普及・啓発に功労があった個人・団体35名の表彰が行われたあと、大会主催者の麻生盛高体育協会会長の「スポーツを通じて親睦と融和を深めるだけでなく、時代の流れと共に失われつつある地域の連帯感を強めてほしい」とあいさつ。昨年優勝の南山田支部からの優勝旗返還などが行われ、「最後まであきらめずにプレーします」と鶴原宏紀君（野上支部・少年野球出場）が選手宣誓。競技が始まりました。

第35回町民体育大会が10月12日、九重町活いきランドを主会場に町内各地で行われました。

九重文化センター体育館で行われた開会式では、まず町民体育の普及・啓発に功労があった個人・団体35名の表彰が行われたあと、大会主催者の麻生盛高体育協会会長の「スポーツを通じて親睦と融和を深めるだけでなく、時代の流れと共に失われつつある地域の連帯感を強めてほしい」とあいさつ。昨年優勝の南山田支部からの優勝旗返還などが行われ、「最後まであきらめずにプレーします」と鶴原宏紀君（野上支部・少年野球出場）が選手宣誓。競技が始まりました。

▶鶴原宏紀君による選手宣誓



交通安全

日本一安全なまちづくりを ～玖珠郡交通安全大会

交通事故のない安全なまちづくりをしようと、玖珠郡交通安全大会が9月22日、九重文化センターで行われ、交通安全に功労があった個人・団体49名が表彰されました。最後に、参加者全員で「飲酒運転を絶対にしない」などの安全運転の誓いを合唱。交通事故撲滅に向け誓いを新たにしました。

大分県は全国的にみても追突事故が多く、その中でも玖珠郡内は特に多いそうです。国道沿いに大型店から十分な安全確認をしないまま国道に飛び出し事故になるケースが多く、このほかに景色に見とれて追突する事故も郡内では多く発生しています。



最後は参加者全員で「交通安全の誓い」を合唱

平成15年町内地区別事故発生状況(累計、属地)

地区別	人身事故		物損事故	件数計
	死者	負傷者		
東飯田	0	21	10	46
野上	0	19	13	49
飯田	2	28	15	150
南山田	0	17	13	48
計	2	85	51	293

(平成15年10月末現在)

くらしの情報

消防設備点検資格者講習会

講習期日

- ①第1種消防設備点検資格者講習
平成16年1月20日～22日(3日間)
- ②第2種消防設備点検資格者講習
平成16年1月27日～29日(3日間)

講習会場 新日鉄明野研修センター「攻玉寮」(大分市)
受講申し込み(受付)期間

平成15年12月15日～16年1月13日

申請書提出・お問い合わせ先

(財)大分県消防設備安全協会(☎097-537-3125)

*講習の手引き(申請書)は県内の消防(局)本部にあります

第21回お正月ホームステイ・大分受け入れ家族募集

日本へ留学しているみなさんへ、日本の正月を体験してもらうため、ホームステイ受け入れ家族を募集しています。留学生は日本語ができます。

受入期間 12月26日(金)～1月4日(日)

お問い合わせ先 郷土の文化と国際交流を考える会
☎097-546-0261 (大分市・平野さん)

無料日曜公証法律相談

相談担当 日田公証役場公証人

予約制 平日に事前電話受付します。
(予約電話番号 0973-24-6751)

相談日 (いずれも日曜日)
12月分は7日と14日
1月分は18日と25日

場所 日田公証役場
(日田市田島2丁目 日田市役所前交差点南東角)

相談内容 遺言・相続・高齢者等の財産管理・売買・賃貸借・
金銭貸借・離婚・尊厳死宣言・境界問題など

相談時間 午前9時～午後5時(1組約1時間)

大分県立聾学校高等部入学選考

募集学科・定員

学科→産業工芸科・被服科・理容科

定員→本科・専攻科それぞれ8名

応募資格 聴覚に障害を有する人

入学考査料は無料です。

試験日・願書提出期限等の詳細は県立聾学校

TEL.097-543-2047 FAX.097-546-2111)まで。

親子で楽しむ手作り体験

と き 平成15年12月6日(土)～7日(日)1泊2日

と ころ 九重少年自然の家(飯田)

対 象 子どもとその保護者約70名

内 容 キャンドルとリースづくり、草木染め、焼き芋体験など

経 費 一人2,000円(3食食事代・保険掛け金等)

申し込みは12月2日(火)までに九重少年自然の家へ(☎79-3114)

人権啓発アニメーション 「夢、空高く」

12月23日(祝)14:00～14:50

OAB大分朝日放送にて放映。

人権啓発フェスティバルおおいた2007

開催日 11月28日(金)～11月30日(日)

場 所 大分市 アイネス

(大分県消費生活・男女共同参画プラザ)会場
11月28日(金)13:30～

記念講演 林家染二

「笑いと情けが人の輪を広げる」

津軽三味線 長谷川一義

ほかに「リトルダンサー」上映(29・30日)など

※竹町ドーム広場会場(29・30日)ではゴスペルコンサートなど

問い合わせ

大分県同和対策課

☎097-536-1111(内線3176・3177)

大分県女性就業サポート事業技術講習会

講習日程 平成16年1月15日(木)～2月18日(水)

10時～16時 土・日・祝日除く

講習内容 医療事務(医科)2級

講習場所 (株)アステム会議室(大分市大道町)

※駐車場なし

対象者 再就職を希望する女性で、全日程出席可能な人

申し込み日時 平成15年12月10日(水)・11日(木)

10時～14時

申し込み受付場所

NS大分ビル2階会議室(大分市東春日町1-1)

*電話申し込みは不可

受講料は無料(ただし検定試験受験料・テキスト代等は自己負担)

問い合わせ先 ちふ連就業サポート室(☎097-514-5411)

今月の納税・玖珠九重
農協旧支店収納窓口対応日

納付月

農協旧支店対応日

対応時間

11月

11月28日(金)・12月1日(月)

9:00～15:00

平成16年度町立保育所・幼稚園 入園申し込み受付について

保育所入所資格

町内に居住し、就学前(満5歳まで)の乳幼児で、家庭において保育に欠ける(保護者が労働に従事したり病気などの理由で家庭において十分に保育することができない)乳幼児。

幼稚園入園資格

(次の2つの要件を満たす必要があります)

- ①町内の区域内に居住または町外者で、設置者が特に入園が必要と認めた幼児。
- ②(満4歳に達した翌日以後最初の)学年の初めから小学校就学の始期に達するまで(満4・5歳)の幼児。



受付期間 平成15年12月1日(月)～12月10日(水)

受付場所・問い合わせ先

役場幼児教育課	☎76-3828
木の芽保育園(東飯田)	☎76-2394
木の葉保育園(野上)	☎77-6441
木の花保育園(飯田)	☎79-3700
木の実保育園(南山田)	☎78-9431
東飯田幼稚園	☎76-3067
野上幼稚園	☎77-6904
飯田幼稚園	☎79-2351
明倫幼稚園	☎78-8636

*申込書は上記受付場所で11月25日から用意しています。

製造事業者のみなさまへ 工業統計調査にご協力ください

本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、数字等の正確なご記入をお願いします。

経済産業省・大分県・九重町

労美展作品募集

絵画・書道・写真・彫刻・工芸・デザイン・イラスト

受付期間 平成16年1月19日(月)～2月18日(水)

お問い合わせ・申込先

玖珠九重地方振興局企画商工課(☎72-2906)

身体拘束ゼロを目指して

平成12年度の介護保険制度施行に伴い、介護保険施設等では身体拘束が原則禁止されました。

身体拘束とは、利用者が自らの意志でベッドから降りられないように柵で囲む、車椅子から滑り落ちないようにベルトなどで固定する、自分では脱げないようなつなぎ服を着せるなどして、利用者の行動を制限することです。

身体拘束は、人権擁護の観点から問題があるだけでなく、利用者の生活の質を根本から損なう危険性があります。身体拘束によって、利用者自身の身体機能や生きる意欲が低下し、寝たきりにつながるおそれもあります。介護保険施設等では、身体拘束によらない介護の実践に取り組んでいます。その取り組みは未だ十分ではありません。

そこで、県では身体拘束を行わずに利用者の尊厳を守り健やかな人生を送っていただくために「何が身体拘束なのか」、「どうすれば身体拘束のない介護ができるのか」などの相談窓口を設置しました。

サービス利用者・ご家族・サービス提供者どなたでも、拘束されない・拘束しない介護サービスの利用・提供に関するご相談を、電話・Eメールで受け付けますので、ご利用ください。

受付日・時間 毎週水曜日と土曜日の10時から15時

受付方法 電話：097-537-2155

Eメール：kousokuzero@poppy.ocn.ne.jp

設置場所 大分県看護研修センター・身体拘束ゼロ相談窓口(大分市寿町2-6)

税金のゆくえ

みなさまからいただいた税金は
次のようなことに使われています。
(平成15年度予算・国の歳出)

歳出を1万円とすると……

1. 社会保障(2,322円)
病気を治したり、お年寄りなどを助ける費用
2. 県や市町村へ(2,127円)
県や市町村の仕事を助ける費用
3. 国債費(2,054円)
国が借りたお金を返す費用
4. 公共事業(990円)
住宅・道路・公園などを作る費用
5. 教育や科学の振興(791円)
校舎の建設や宇宙開発のための費用
6. 防衛(606円)
国を守るための費用
7. その他(1,110円)
国のいろいろな施策のための費用



今月の 年金相談

日時 11月26日(水)10:00～15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税

【国民健康保険税】

納期限12月1日

【町県民税】第3期

みんなの願い……

幸せになるころね

Vol. 31

「えせ同和行為」を
排除しましょう。



「えせ同和行為」とは、同和地区の関係者を装ったり、いかにも同和問題を解決するようみせかけて企業・病院・事業所等に高額な図書や商品を強制的に売りつける悪質な業者の行為のことをいいます。

特に最近の傾向は、小さな商店や企業・公的機関の役職者・学校関係者など個人にも勝手に商品を送り届け、あとで代金を請求したり押しかけたといった脅かしで購入強要を求めてくるようになってきました。

その代表的な手口は「法律で企業は研修や同和問題の担当者を配置するようになってい

るのに、していなければ大変なことになりま

すよ、多くの者があなたの会社に押しかけま

を植え付ける大きな原因となっています。

このような強要行為に対しては、毅然とした態度で拒絶し、役場（人権同和对策室・隣保館）や警察などに相談してください。「えせ同和行為」に対処するためのビデオ等も用意しています。

そして、この「えせ同和行為」に対処するには、同和問題を理解することです。これらの問題は、すべて「こわい」という意識をつくりあげてきた私たち自身の問題であるといえます。

本当に「こわい」のは、正しい理解をせず、「偏見で一部の人たちを差別し、傷つけている」人たちなのではないでしょうか。



＝平成15年11月・12月休日当番＝

病院	月	日	医療機関名	住所	電話
病院	11月	23日	井上 医院	恵 良	76-2711
			北山田クリニック	北山田	73-2030
		24日	友成(産婦人科)医院	塚 脇	72-0330
			武田 医院	森	72-0170
		30日	小中 病院	塚 脇	72-2167
			飯田高原診療所	飯 田	79-2138
	12月	7日	後藤内科医院	昭 和	72-0676
			矢原 医院	野 上	77-6121
		14日	高田 病院	春 日	72-2135
		21日	長内科小児科胃腸科医院	春 日	72-2143
		麻生消化器科内科医院	山 田	72-7100	
23日		三池循環器科内科医院	塚 脇	72-6101	
		友成(町田)医院	町 田	78-8811	
28日		玖珠記念病院	塚 脇	72-1127	

歯科	月	日	医療機関名	住所	電話
歯科	11月	23日	内川 歯科医院	日 市	0973-22-0320
		24日	林田 歯科医院	引 治	78-8416
		30日	森山 歯科医院	日 市	0973-24-5809
	12月	7日	高田 歯科医院	日 市	0973-22-4918
		14日	吉武 歯科医院	玖 珠	72-0615
		21日	上津江村歯科診療所	上津江村	0973-54-3198
		23日	後藤 歯科医院	日 市	0973-22-0002
		28日	秋吉 歯科医院	玖 珠	72-0421

スタンド	月	日	店 名	月	日	店 名
スタンド	11月	23日	森 石 油	12月	7日	小 幡 石 油
		30日	自 由 営 業		14日	河 野 石 油
			21日		竹 尾 石 油	

獣 医	月	日	獣医師名	電 話
獣 医	11月	22日・29日	佐 藤 獣 医	77-6448
	12月	7日・20日・27日		
	11月	24日	山 本 獣 医	78-9101
	12月	6日・14日・23日・29日		
	11月	23日・30日	甲 斐 獣 医	76-3324
	12月	13日・21日・28日		

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎3409
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

★都合で変更する場合があります 玖珠消防署：● 救急は119番 ☎72-2141 ● 火災の確認は ☎72-5100

季節

12月号

「日向ぼ」短日(暮れ早し)」

「賀状書く」

(11月25日締切)

1月号

①自由題(新年・元旦に関するもの)

②「風花」

(12月22日締切)

※締切が過ぎてもお申し込みください。
※お申し込みは、お電話か郵送で。

今月の季節

自由題

(晩秋または初冬であれば自由)

どの道を行ってもあふれ秋桜
袴着の似合いし孫の七五三
来ましたよ初冬の里にラーメン屋
おはようの吐く息白し散歩道
晩秋や心さみしきひとり居り
晩秋や寢床の温もり後五分
晩秋や女二人の露天風呂
源流の瀬音に浴ひて紅葉狩
小走りて秋の夕暮れショッピング
柳葉の散りて池面の明るさよ
初冬や畜舎の陰より牛の声
晩秋の静かな里の写生かな
晩秋やあつと言う間に陽がしずむ
早々とツリー顔出す冬初め
夕映えの軒端に吊す赤胡椒

「どの道を行ってもあふれ秋桜」近頃特にコスモスが路傍を楽しませる。「袴着の似合いし孫の七五三」両親と祖父母の喜びがいつばい。「来ましたよ初冬の里にラーメン屋」毎年の体験が季節を新しく呼び起こす。どの句にも過去の思い出や現実の観察による感動がある。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報係まで応募を。なお、応募作品は返却しません。

- 甲斐 和子
穴井久美子
玉井多喜子
田浦登志枝
赤峰 幸子
原田 孟一
原田 勝子
清竹 勇蔵
藤澤 節子
小野十三日
井上 マキ
佐藤 節代
佐藤 元八
湯浅加代子
選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 113

平家の落人伝説を訪ねて

文化財調査員研修レポート 甲斐素純

私たち文化財調査員一同は、今度平家落人伝説の地を探索した。町内には様々な民話や伝説があるが、松木の平家伝説は一般にあまり知られていないのではないか。

落人伝説で有名なのは宮崎県椎葉村で、そこには江戸時代に書かれた「椎葉山由来」があり、「入水の内存命の面々申謀り時節を待ち、命全ふし何卒安泰の地を求め山深く忍隠れ天運の至る時を待つに苦くわなしと豊後国玖珠の山に分け入り留る。今に至り平家山と云ひ伝ふ。去れ共山浅く

鎌倉に知れあらわれむ事を怖れ」とある。ここ松木には平家山(一〇三三三)があり、その周辺には鍛冶屋跡・千人石・横山大明神・花立ての台など関連遺跡がある。

先年私たちは調査活動の一環として、椎葉や五木地方を訪れた。道路改良はかなり進んではいるが、松木地区と比べ、かなりの山奥で谷が深い。傾斜が急なため、耕地はほとんどなく、「陸の孤島」であったことを彷彿とさせてくれる。山全体に雑木が生い茂り、昼なお暗く、車のライト常時点灯地区となっていた。

ところで、平成17年は九重町歴史資料館開館5周年というところで、私たちは目的意識を持って各地の落人伝説を視察し、研修を重ね資料を収集している。

今年の視察初日は愛媛県保内町の平家谷公園で、川の上流部に「平家神社」と安徳天皇遙拝所があった。ここは地区の老人会が売店運営、管理をしており、そうめん流しが春から夏シーズンにできるという。少しお話を伺いしたが、いただいた名刺に「全国平家会理事 平家敏生」とあったのには驚いた。

町内にも、先述したように椎葉の人々がかつて一時住んでいたという平家山があり、その近くには平家のお家再興のための軍資金を隠したという「宝山」もあり、これら結びつけた「本場平家の里」をアピールすると、「地域おこし」につながるのではないだろうか。地域住民が知恵と力を出しあって平家関連名所巡りコースの設定・民芸品の創作・昔の食事再現など、平家と結びつけた取り組みを始めてはいるだろうか。



▶2日目の研修地・高知県西土佐村藤ノ川地区

人の動き

弔慰 お悔やみ申し上げます

おめでとうございます 出生

おなまえ	年齢	行政区
佐藤 司	92	青山通り
渡邊 清春	84	無田上
松岡 光子	87	梶屋
森 頼重	73	北方下
赤峰 キミ	83	筋湯
梅木 諭	92	桐木一
須賀 明	77	粟野本
樋口 軍藏	91	串野上
岐部 玲子	71	串野下
江藤 和子	72	川西二
佐藤 三太夫	92	滝上上
衛藤 信夫	81	滝上上
穴井 宗八	70	奥双石
時松 八重	91	下畑
原田 美利	88	南恵良

10月1日～10月31日届出分 (敬称略)

おなまえ	性別	保護者	行政区
大野 菜々	女	謙治	岩の上
野上 明日香	女	孝徳	拓郷
清竹 姫菜子	女	和広	黒猪鹿
矢野 瑞希	女	秀樹	湯坪下

人口と世帯

人口 11,861 人 (- 10)
 男 5,663 人 (- 12)
 女 6,198 人 (+ 2)
 世帯 3,890 (+ 4)
 () は前月との増減

映画 おばあちゃんの家 2002年韓国

母親が新しい仕事を見つける間、貧しい村にすむ祖母に預けられるサンフ。都会っ子のサンフは田舎生活が退屈で祖母に当たり散らす。しかし、祖母は叱ることなくサンフの願いを一心にかなえようとする……。「おばあちゃんに感謝する映画を撮りたかった」と語る女性監督の優しさに満ちたこの作品。本国・韓国では400万人を越す異例の大ヒット。国境や人種を越えて世界中の人々に共通する「大切な思い出」が胸に迫ります。

とき 2003年12月16日(火)
 ①13:30 ②19:00 (2回上映)
 場所 九重文化センター
 料金 前売り券 1,000円(当日1,200円)
 *60歳以上は前売り・当日とも1,000円
 *高校生以下は前売り・当日とも500円
 主催:九重町良い映画を見る会



観た人の感想から
 ★自分のおばあちゃんの優しさを思い出しました。★かたてこんなに泣いた映画があったのだろうか。★おばあちゃんにはすべてを包んでくれるようなやさしさがある。そんなことを感じました。

観光インフオメーション
 来ちよくれ
 見ちよくれ

● 11月25日
 筋湯甘酒祭り

● シーズン到来!
 九重森林公園スキー場
 12月中旬オープン!

九重町観光協会(役場商工観光課内)
 ☎0973-8866 FAX0973-2247
 九重ふるさと館観光案内所
 ☎0973-5510 FAX0973-5511
 くじゅう飯田高原観光案内所
 ☎0973-2381 FAX0973-2381

町長と語る ふれあいタイム

12月のお知らせ

12月13日 (第2土曜日)
 午前10時から午後4時まで。
 九重町役場で行います。
 お気軽においでください。

地域の情報をお寄せください。

広報ここのえ
 TEL 76-3807
 FAX 76-2247(各課共用)
 E-mail kikaku@town.kokonoe.oita.jp

編集後記

住民の方からいただいた広報ここのえへの提案を9ページで取り上げました。ここでも書いてあるとおり、住民のみならず町をつなぐもの、それが広報紙です。それだけでなく、町と町をつなぐ役割がこれからは出てきます。市町村合併です。8ページにあるとおり玖珠町との法定合併協議会が本格スタート。これを機に、広報紙上でも共同企画をしてみたいね、と玖珠町の担当者と話してみます。同じページには、トキ復活プロジェクトの記事。一環境は祖先からの遺産ではなく、子孫の代からの借り物である」という言葉があります。新しい市を作る時にも同じことが言えます。●今月はイベント・お祭り関係の記事が多くなりました。一部を除いて天候に恵まれ、取材した側としても大変心地よい時間を過ごすことができました。広報紙を作っていて心地よい時間というのは、いくつもあります。そのひとつが取材帰りの車の中です。特にインタビュー取材の後、取材を終えた「安堵感」と、どうまとめるかという「プレッシャー」がないままになったひとときは格別です。貴重な時間を割いて話をしてくれたことに感謝しつつ、すばらしい人柄にふれ、それにどう答えようか考えながら心の中をいつかおぼやけの「よし、いい記事を書こう」。けっこう養理と人情の世界かも知。次号の特集に向けて取材を進めています。こんな心地よい時間を継続しています。次号特集は「かつて青年団があった」の予定です。

Kochi-T

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ

資源保護のため広報ここのえは古紙配合率100%の再生紙を使用しています。R100